

地域コミュニティ活性化事業補助金

対象事業 複数に拡充を

佐藤会長、市長に要望書提出

佐藤久雄市町会連合会会長は、7月10日(土)の市政懇談会の席上、佐々木誠造市長に対し「地域



要望の内容を読み上げる佐藤会長

コミュニティ活性化事業補助金」の対象事業を拡充するよう要望書を提出しました。

これは現在、補助制度が2分の1の補助率で1町会が実施する場合、1事業に限られているため複数の事業まで拡充して補助が受けられるよう要望したものです。

また町会連合会では、各町会が抱えている共通の課題について

- ・ 6月24日(木)に「街路灯の設置促進」及び「道路側溝の整備促進」
- ・ 7月22日(木)に「チラシ配布等に関する市との業務委託契約に伴う委託料の14年度ベースに還元」

以上の要望書を提出しました。

10月19日
町内女性の集い

テーマ「男女共同参画社会と町会活動」

参加者と市長の意見交換も

市町会連合会女性部会では、10月19日(火)午後1時から市文化会館5階大会議室で第27回町内女性の集いを開きます。

集いは、今後の町内女性部の活動のあり方を探り、活発化につなげることを目的に「男女共同参画社会と町会活動」をテーマに参加者と佐々木誠造市長のほか、市理事者と意見交換を行うことに

しています。

多くの町内女性部の方々が参加されるよう、各町会長に参加の呼びかけを行っています。

新任町会長研修会 地区社協との関わりテーマに

市町会連合会では6月24日(木)、今年度新しく就任した町会長を対象とした研修会を市福祉増進

地域協ごと町会長研修会 町役員との意見交換会

16年度の地域協議会ごとに開いている、町会長の研修会と町会連合会役員との意見交換会が9月29日(水)の中部地域から始まり、10月8日(金)には南部地域で開催しました。次の日程には意見交換会も含まれます。

▽東部地域＝10月20日(水)午前9時30分(老人保健施設・青森ナーシングライフ)「町会長の健康管理について」(講師・恵寿福社会看護師長)

▽西部地域＝10月26日(火)午後1時30分(西部市民センター)「西部地域の活断層について」(講師・弘前大学理工学部教授)

▽北部地域＝11月11日(木)午後1時30分(油川市民センター)「地域の活性化について」(講師・青い森ボランティアズクラブ会長)



活発に質問する出席者

センター(しあわせプラザ)で開催し、51人のうち44人の町会長が出席しました。

新谷峰三町会連合会副会長のあいさつのあと、市社会福祉協議会の白川昌雄常務理事が「地区社会福祉協議会と町会長の関わり」、鈴木鐵榮町会連合会事務局長が「町会の事務取り扱い」について説明しました。

町会長からは、地区社協と町会との関わり疑問や共同募金と日赤社費集金に目標額を示すべきでないなどの質問や意見が出されました。

町会長への年賀状も廃止の方向

事業運営のあり方検討委設置



今後の町会連合会について話し合う検討委員会

市町会連合会は、市交付金が大幅に削減されたことなどから厳しい財政環境となっていることと青森市、浪岡町が合併した場合の両市町の町会連合会の統合を視野に入れた今後の事業運営のあり方を検討するため、6月15日(火)開催の常任理事会で正・副会長、常任理事、事務局長の13人による検討委員会を設置し、委員長に佐藤久雄会長を選びました。

これまでに3回検討委員会を開きましたが、373町会長への年賀状廃止や永年勤続町会長の表彰制度の見直しなどを審議継続中で、検討結果がまと

まれば理事会に報告し、各町会長にお知らせすることにしております。

70項目の町会実態調査 目下、分析作業の結果待ち

市町会連合会では、今後の事業運営の参考とするため、これまで行ったことがない大規模な各町会の実態調査を8月20日(金)締め切りで実施しました。

調査項目は、町会の姿を調査する「総括的事項」が19項目、町会連合会の「部会事業に関する事項」が6つの部会を合わせて70項目を調査しました。

9月6日(月)現在で、339町会(回収率90.9%)から回答があり、その結果について分析作業中ですが、作業が終わり次第、各町会に結果をお知らせすることとしています。

町会長の皆様にはご協力ありがとうございました。

カラスの害防止に妙案

— 浦町第一町会 —

ごみ袋を遮光シートで覆う

カラスの害には、どこの町会でも頭を悩ましていることと思います。浦町第一町会(工藤浩会長)では、集積場所のごみ袋を「遮光シート」(ナイロン黒生地)ですっぽり覆うことで、カラスによる散乱被害から解放されたそうです。

同町会は、集積庫などを設置する土地もなく、歩道を利用して6カ所のごみ集積場所を設けているとのこと。以前はごみ袋の上に網をかけていましたが、カラスは網の上から袋を突き破り、ごみを散らかしたといいます。

いろんな対策を試みたが思わしくなく、そんな折、偶然、スーパーで販売している遮光シートと出会ったそうです。さっそく試したところ、「カラスはその場所には近づこうとはしない。おそらく黒い色が恐怖感を与えているのでは」といい、



ごみ袋を遮光シートで覆った集積所

シートをかぶせてからカラスの害がないと喜んでいきます。

同町会によると、遮光シートは長さ3m、幅1.8mで、1枚210円。柔らかくて軽く、取り扱っても容易といい、2枚をつなぎ合わせて、ごみ袋がはみ出さないように使っているそうです。「お悩みの方々は、一度試してみてもは」と話しています。
※各町会でさまざまなカラス対策を試みていると思いますが、ぜひ紹介したい対策がありましたら町会連合会事務局までご連絡のほどお願いします。

「事故に遭わない、起こさない」

交通安全パレードや祈願祭行う

【決起大会・パレード】各地区の連合町会は、7月から地域住民の交通安全意識の高揚を図るため、それぞれ各地区の子供会、老人クラブ、女性部などの協力を得て、「事故に遭わない、事故を起こさない」を合言葉に決起大会、パレードを実施しました。



桜川団地町会の交通安全パレード。上は出発前の決起集会



今年度計画した18連合町会は、東部第5、6、10区、西部第1、2、5、6区、南部第1、3、4、6、7、8、10区、北部第1、2区、中部第1、6区でした。

【市民交通安全祈願】交通事故のない、明るく安全・安心な町の実現に向け、市町会連合会では7月20日(火)、広田神社で交通安全祈願祭を行いました。

佐藤久雄市町会連合会会長はじめ各役員、地区連合町会長ら39人が出席し、厳かな神事の中、

市民と市長の懇談サロン

今年度の日程決まる

16年度開催の「市民と市長の懇談サロン」は各地域協議会が協議・調整の結果、次の通り決まりました。

- 17年1月19日(水) 南部第1区連合町会
- 17年2月26日(土) 東部第5区連合町会

それぞれ玉ぐしをささげ、市民の交通安全と無事故を祈願しました。

【交通安全施設の整備】市町会連合会と市関係課では、33町会から要望のあったロードミラーの設置など48カ所の交通安全に対する危険個所の道路診断を7月27日(火)、29日(木)の2日間にわたり行いました。

検討結果については後日、関係町会に連絡することになっています。

【青森市自転車マナーアップ大会】自転車運転技術の向上と高齢者の交通事故防止を図ることを目的に、7月26日(月)中央自動車学校で、15チーム44人が参加して行われました。

競技方法は、60歳以上3人で1チーム(必ず男女混合)で、学科と走行競技による減点方式でしたが、普段の乗り方と違い、競技となれば、真剣そのもの、悪戦苦闘の冷や汗ながらも気持ちの良い1日でした。



のほり旗を交換する佐藤会長と小山弘前市町連副会長

弘前市町連の交通安全委員 当町会連合会と意見交換会

弘前市町連地区代表交通安全委員の視察研修会一行が7月7日(水)青森市を訪れ、市福祉増進センター(しあわせプラザ)で当町会連合会と意見交換を行いました。これには両市合わせて47人が出席しました。

はじめに、佐藤久雄会長と弘前市町連の小山三千雄副会長が、それぞれあいさつのもと交通安全推進の活動状況について報告と意見交換を行い、それぞれの交通安全のほり旗を交換し、意見交換を終えました。



空き地を花の名所に 坂本さん、雨の日も奮闘

当町会は、津軽新城駅から油川方面に200mほど進んだところに位置します。金峰神社があり、その隣に33㎡(10坪)の土地がありますが、中央にごみ集積所、両側に空き地があって、放置しておくとも草ぼうぼうの状態になります。

そこを何とかきれいな環境にしようと、15年度事業で予算を盛り、花いっぱい運動を繰



空の玄関口きれいに 町民一丸で春の大掃除

当町会は昨年から、春の大掃除の日を4月の第3日曜日と決め、今年も4月25日に、高田婦人会の皆さんと合同で町内外の清掃活動を行いました。

町会120人、婦人会30人が男女2班に分かれて、午前8時に高田教育福祉センター広場に集合。男性は道路側溝の泥上げ、女性はごみ拾いと空き缶拾いを行いました。女性側には軽ト

八雲町会

おあほの自慢

高田町会

り広げました。見た目は悪いが、電柱を横にして区画の基礎をつくり、花壇にしました。

花の苗は、町民の持ち寄りとし市緑と花推進課からの寄贈のものを植えました。なかでも、坂本はなさん(76)は雨の日でも、合羽を着て植え付けをする奮闘ぶり。「表彰もの」と町民の評判です。

その後、緑と花推進課から600本の花苗をいただき、老人クラブの方々の協力を得て西部市民センターの一面に植え付けました。その花が見事に咲き、町会では「花は心を豊かにする」と心から感謝しています。



ラック1台をあてがい、午前10時30分に終了しました。

その後、参加者全員が教育福祉センター体育館でジュースなどで労をねぎらい、これからの清掃方針について話し合いました。

地区内には青森空港があり、観光客など県外客が頻繁に乗り降りし、まさに市の玄関口でもあります。空港利用者のほとんどが高田を通過して市内に入ることから、当町会では空港道路を中心に清掃活動を行うよう、町会の皆さんに呼びかけています。きれいな街へ、10月に秋の大掃除も予定しています。





花鉢を一鉢ずつ袋に入れて配布

花500鉢をプレゼント

女性部会が新町で行人に

今年の「花いっぱい運動」は6月10日(木)、女性部会員10人が出て、新町さくら野デパート前

で行いました。9回目を数える今回は、インパチェンス、ペゴニア、ペチュニアなど色鮮やかに咲き誇る500鉢を用意。行人人にそれぞれ1鉢ずつ配布しましたが、開始まもなく、すべての花が出尽くしました。

花いっぱい運動が市民に浸透し、関心が高いこともさることながら、3品種、しかも花色を2種類ずつ用意したことが大いに受けたようです。

女性部会では、「『緑と花のいっぱいある町』をスローガンに掲げる市の方針に、幾らかでも添えれば幸いです」といい、佐藤久雄町会連合会会長が現場で最後まで応援してくれたことに感謝しています。

頑張っています

施設の草取り続け19年

地域をきれいな環境にしようと続けている活動の中で、第一にあげなければならないのは「ほろがけ遊園」の草取りです。昭和60年からですから、もう19年になりますが、毎年5月下旬か6月上旬に実施日を決めて行い、町民から喜ばれています。

また有価資源物回収団体として登録、古新聞や古雑誌などの回収にやって来る業者にも積極的に協力し、平成9年と13年に青森市ごみ問題対策市民会議から表彰を受けています。



遊園地を清掃する婦人会員

婁懸町会婦人会

さらに運動を盛り上げようと、町会長が回覧板で婦人会以外の世帯にも協力を呼びかけてくだされ、浸透しつつあります。

ちなみに15年度の実績は廃品回収金と市の奨励金を合わせ47,988円でした。婦人会一同、今後の活動にも大張り切りです。

哀悼録

新城青葉台町会長 山本 幸二
(平成16年8月20日ご逝去)
慎んで哀悼の意を表します。

阿部正男(総務部会) 狭間昭治(建設部会) 坂本孝清(交通安全防犯部会) 今貞一(環境衛生部会) 小笠原初枝(福祉部会) 宮川梅子(女性部会)

編集後記

葬祭用ポスターご利用を

町会連合会では、冠婚葬祭合理化運動を推進しています。その一環として「葬祭用ポスター」(1枚250円)を販売しています。どうぞご利用し、運動にご協力ください。

忘れたところに突然やってくる災害。このために、後々まで苦しめられるケースが多いようです。市政懇談会でも強調されたように、被害を少なくする上からも自主防災活動が欠かせないわけです。

町連だより新編集委員決まる

7月20日(火)開催の常任理事会で各部会選出の「町連だより編集委員」が次の通り決まり、佐藤会長が委嘱状を交付しました。

同時に、もう一つ気がかりなのは人為的な災害。家に帰ったところ侵入していた賊に襲われたとか、寝込みを襲われ惨殺されたケースがあります。これからは賊が襲い難い町づくり、近隣との連携なども真剣に考える必要があるのではないのでしょうか。